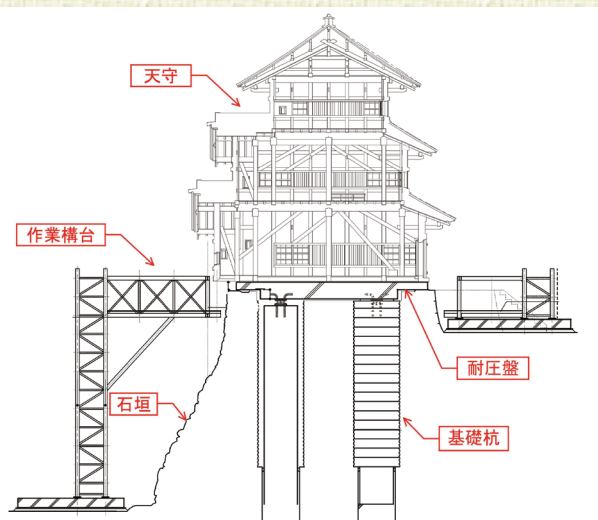


弘前城石垣修理

第27回 ～弘前城天守曳戻しに向けて～

今年の秋頃、文化7（1810）年に再建された重要文化財の弘前城天守が、約11年ぶりに本来の位置である本丸南東隅の天守台に戻ります（※1）。



▲（※1）曳戻し直後のイメージ図（図面右が西、天守入口）

この天守曳戻しに向けて、現在、天守基礎の耐震補強工事を行っています。天守基礎の耐震化は、本丸南東隅の天守台に直径2メートル、長さ約35メートルの基礎杭を4本設置するものです（※2～4）。



▲（※2）基礎杭設置箇所発掘調査終了後の様子



▲（※3）基礎杭設置箇所掘削状況（東から）



▲（※4）鋼管の設置状況

この工事に伴い、天守を支える基礎杭と耐圧壁を設置するため、鉄骨を組み上げた作業構台を設置しています（※5・6）。この作業構台は、天守曳戻しだけではなく、その後の天守本体の耐震補強と保存修理工事の際にも活用します。これら全ての工事を終え、内部を公開できる安全性が確認でき次第、作業構台を撤去し、内濠を復旧する予定です。



▲（※5）組立中の作業構台（本丸から天守台を望む）



▲（※6）作業構台（下乗橋から天守台を望む）

現在、天守曳戻し工事の準備として、本丸南側に仮設通路を設置し、天守内部の養生や仮補強用の鉄骨を取り外す作業等を行っており、今年の「弘前さくらまつり」後には曳戻しに向けた作業を開始し、11月には曳戻しを完了させたいと考えています。

なお、これら天守本体に関する工事に伴い、天守の内部公開は令和14年度（予定）まで休止となります。また、令和10年夏以降は、天守全体をシートで覆っての作業となるため、外観を直接見るができなくなる予定です。詳しくは弘前城本丸石垣修理事業のホームページをご覧ください。

市ホームページには、弘前城本丸石垣修理事業の詳細や弘前城跡の文化財修理・史跡整備情報『弘前城かわら版』を掲載しています。ぜひご覧ください。

問い合わせ先 公園緑地課弘前城整備活用推進室（弘前市緑の相談所内、☎ 33-8739）



▲弘前城本丸石垣修理事業



▲弘前城かわら版

フォトコロ in ひろさき

各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします！

1月
11日

二十歳の祭典

市民会館（下白銀町）



20歳を迎えた1,101人が式典に参加。晴れ着姿の参加者たちが旧友との再会を喜び、思い出話に笑顔の花を咲かせていました。



祝

12月
12日

りんごの約束 クリスマスの思い出

市民中央広場（元寺町）



りんごにちなんだクリスマスイベントを開催。旧第五十九銀行本店本館に映し出されたプロジェクションマッピングが幻想的でした。



12月
25日

第12回 弘前子ども議会

市議会議場（上白銀町）



市内6つの小学校と2つの中学校から各2人の子ども議員が参加し、本物の市議会のように一般質問や意見交換が行われました。

1月
10日

弘前城雪燈籠まつりパネル展

弘前駅（表町）



弘前城雪燈籠まつりの第50回を記念して、これまでの歴史を振り返るパネルを展示。まつり期間中は、まつり会場に展示します。



1月
12日

弘前市・西目屋村消防団出初式

土手町通り



消防団員ら約1,100人が勇ましく堂々としたまとい振りなどを披露。災害のない安全なまちを目指して、士気を高めていました。

